



知りたい！知らせたい！

## 女性団体の活動

男女共同参画の視点のもと、女性のあらゆる分野における活動の促進や、地域社会への貢献など、女性たちがいきいきと暮らすことができる社会を実現するため、市内を拠点に活動する女性団体（女性を中心に活動している団体）の日ごろの活動をご紹介します。

### 荏崎市赤十字奉仕団

(団員数：167名)

10月27日、荏崎市営体育館を会場に、中北地区災害救護訓練が開催されました。7市町より201名の団員が集まり、荏崎市赤十字奉仕団からは、各地区の代表25名が参加しました。

当日は、グループに分かれて、炊き出し～負傷者の搬出方法～救急法及びAEDの講習～三角布を利用した応急手当の訓練を行いました。

炊き出しは、耐熱の専用袋に一合弱の無洗米と水と梅を入れ、沸騰したお湯の入った大鍋で30分程で炊き上げます。最小限の材料でできることのほか、持ち運びに便利であり、手を汚さずどこでも食べられるなどの利点があります。地震などの災害発生時に大いに活用できる知識のひとつとあり、受講生は皆、熱心に取り組んでいました。

災害は、まず起こらないことを願いますが、普段からの備えが大切です。慌てず、適切な対応ができるように心掛けていきたいものです。

代表 小尾 智子



### 荏崎市愛育会

(班員数：190名)

荏崎市愛育会は、赤ちゃんから高齢者まであらゆる世代の市民が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、見守りや声かけを行っています。

市内8地区で実施している「ふれあい教室」では、お子さんをお持ちのお母さん同士の交流の機会として、手作りおやつや親子遊びを企画、参加者の皆さまからは、日頃の子育ての悩みや思いを語り合うことで、気分転換ができ、子どもの楽しい笑顔にふれることができたこと喜んでいただいております。

また、赤ちゃんや高齢者への「プレゼント訪問」として、新生児へは、健やかに育つようにとの願いを込めて、絵本やガーゼハンカチにメッセージを添えて渡しております。日頃なかなかお会いできない高齢者の方へは、長寿の秘訣などを伺いながら、声かけ運動のきっかけづくりとして取り組んでいます。自分たちにできることを話し合い、楽しみながら活動しています。

代表 矢崎 清香





## 韮崎生活学校

(会員数：17名)



昭和53年設立以来、身近な暮らしの中の悩みや疑問についての学びを基本に、時代の変動により生ずる様々な社会的課題に取り組み、環境・食育・消費者問題など多岐にわたり、調査研究を行いつつ実践活動を続けてきました。

最近では3月11日の東日本大震災の教訓から、アルファ米を使った非常食の演習や、被災地支援の義援金活動も展開をしています。また、レジ袋削減のため「マイバック持参運動」や地域の小学校への食育紙芝居の出前、ほうとうやすいとんの郷土食作りの指導のほか、韮崎市アダプトプログラムにも参加協力をしています。

卒業のない学校、メンバーは少々年を重ねてきましたが、これまでの歩みを見直しながら、今後も足元の課題をしっかりと見つめて、地縁社会の再構築に向けてさらに努力をしていきたいと思っています。韮崎生活学校に参加してみませんか？  
お問い合わせ：22-5660（横森）

代表 横森 ゆき子



## 韮崎市民合唱団

(団員数：40名)

今年創立38年を迎える韮崎市民合唱団は、市内唯一の混声合唱団として、定期演奏会、市生涯学習フェスタ、県ママさんコーラス大会、武田の里音楽祭などに出演しています。

一昨年の定期演奏会では、合唱曲はもちろん、ナツメロや地元の民話を元にオペラの名曲をちりばめた歌芝居「泣いたおやかたさま“山彦乙女”」を演じました。今年は6月10日（日）に、第13回定期演奏会を開催予定です。

また昨年は、東日本大震災の被災者へのエールとして、市立病院ボランティアの皆さんがつくった詩を合唱曲にして、様々な機会でご歌ったりしました。

市民交流センターニコリで、毎週水曜日20時より2時間ほど練習をしています。ここで学び、考え、歌い、合唱の醍醐味を味わっています。ハーモニーは心地よく（心地よくなるまでの練習は厳しいところもありますが）楽しいものです。入団は男女年齢に制限はありません。いつでも可能です。一度見学に来てみてください。そして一緒に歌いましょう。お問い合わせ：22-0188（林）

代表 林 絃子



## 山梨県女性のつばさ韮崎会

(会員数：10名)

山梨県女性のつばさ韮崎会は、昭和62年から19回にわたって行われた「女性のつばさ」（海外研修）に参加した、韮崎市在住の女性10名で構成する小さな会です。

山梨県女性のつばさ連絡協議会は、2010年度をもって活動を終えましたが、私たちは、この韮崎市を子ども、青年、壮年、老年のどの世代にとっても住みやすく、安心して老いられるまちにしたいと願って活動を続けています。

具体的には隔月に例会をもち、担当者が発題をしてみんなで考えます。テーマは、「市議会を傍聴して」「不都合な真実について」「人生のエンディングについて」「信号機の壊れた格差社会について」「やさしい憲法の学び方」「裁判員制度」「高齢期の食事」「ヨガを知ろう」など担当者の関心と興味によって決まります。

楽しく学びながら、人と人が助け合い支え合える地域づくりに微力ながら貢献したいと考えています。

代表 森 きょうこ



## 竜岡公民館女性部すみれ会

(会員数：105名)

竜岡公民館には、書道、大正琴、いきいき体操、陶芸、フォークダンス、料理、子育てサークル、社会教育放送研究会の8つの自主クラブがあります。それらを総合した名称がすみれ会です。

一番年齢層が厚いのは、いきいき体操クラブです。50歳～80歳代まで約20名が月2回、からだ全体を使いながら声を出し、笑い、楽しく活動しております。一番若いサークルは、子育てサークル（ピーターラビット）です。乳児から3歳児までの子どもとその母親たちの集まりです。年間を通して各祭事を楽しんでおります。中でもクリスマス会は、公民館長がサンタクロースに扮装するなど良い憩いの場になっております。

また、各クラブ共に市、町、地区の文化祭には作品展、発表を行い、グループホームへの慰問などもかかせません。年間を通してすべての公民館活動に参加協力し、公民館を盛り上げております。やはり、女性の力こそが世の中を動かし、明るくするものと思っております。

代表 標 さか江



葦崎市消費生活研究会では、消費生活に必要な知識を修め、実践生活を通じて生活の向上を目指すことを目標に、自主事業や市及び県の事業への協力・参加を行っています。

自主事業では、毎年、武田の里ふるさとまつりに参加、ほうとう作りとバザーを実施、ほうとうは、市民をはじめ会場を訪れる多くの皆さまに、大変好評をいただいております。

また、不要となった布を使っての袋作りの手芸教室、料理講習会、移動研修会など、年間を通じて様々な学習会を行っています。今年度は、講師の先生を招いてのユーモラスな演劇による「オレオレ詐欺」の学習会にも取り組みました。

今後とも、消費者の自立・環境にやさしい暮らしと地域づくりを目指し、賢い消費者になるための学習会に取り組んでいきたいと思っております。

代表 三枝 吟子

## 葦崎市食生活改善推進委員会

(会員数：179名)

葦崎市食生活改善推進委員会は、「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに生涯における健康づくり活動を、食を通して地域に推進するボランティアの団体です。親子や男性、高齢者を対象とした料理教室を中心にさまざまな活動を展開しています。

活動の一つであるヘルシークッキング教室では、日常生活を振り返りながら、推進員と参加者が一緒に勉強する機会としています。具体的にはBMI計算尺を使って肥満度や適正体重の確認、DVDによる簡単なエクササイズ体験、バランスの良い食事をテーマに調理実習を行いました。参加した方からは「毎日の食事は油を使った料理、濃い味付けのものを多く食べていることに気づいた」「これからはよく噛んで食べることを意識したい」など前向きな意見を聞くことができました。

このような活動を通じて、地域の方々へ健康づくりの支援ができるよう今後も続けていきたいと思っております。

葦崎市食生活改善推進委員会



## 葦崎市消費生活研究会

(会員数：30名)



私たちは

## 韮崎市女性団体連絡協議会の会員です



12月13日、会員30名の参加により、山梨県立防災安全センターで研修会を行いました。

本会の今年度の活動テーマは、「政治に関心をもち、生活を見直そう」です。昨年3月11日に発生した東日本大震災を教訓に、今後の暮らしにおいて、自分たちが実践できる備えと災害発生時の対応を改めて考える機会として計画しました。

この日の研修会では、実際に、赤外線消火器を使用しての消火体験や阪神淡路大震災など、過去に起こった地震を再現し、実際にその揺れを体験することができる起震装置での地震体験を行いました。

受講後、参加者からは、家庭や地域ですぐに実践できる自然災害への備えについて、具体的な提案が出されるなど、地震や火災などの自然災害の被害を最小限に食い止める“減災”について学ぶ貴重な機会となりました。

韮崎市女性団体連絡協議会は、韮崎市内の各種女性団体（女性を中心に活動している団体）で組織されています。現在の加入団体は、P 2～4でご紹介した全8団体です。

各種女性団体の自主性を尊重し、相互に連絡提携を図り、明るく住み良い社会と心豊かな人づくりを行うための活動を推進しています。

主な活動として、月1回の理事会による情報交換のほか、年2回の研修会を実施しています。

本会では、現在、平成24年度の新加入団体を募集しています。一緒に活動の輪を広げませんか？

詳しくは、事務局までお問い合わせください。

### ■お問い合わせ

韮崎市女性団体連絡協議会事務局  
（企画財政課企画推進担当内）（内線356）



## ケリーのワンポイント英会話



ハロー、エヴリワン！素晴らしい新年を迎えられたことと思います。

新年といえば、今月はアメリカのお正月のお話をしましょう。

日本では、クリスマスはカップル、お正月は家族で過ごすみたいです。でもアメリカでは全く正反対です。新年は、友達やカップルでパーティをして過ごす相場が決まっています。花火を見ながらカウントダウンをして盛り上がるんですよ！

そしてたくさんの方が「新年の誓い」を立てます。「禁煙する」とか「運動を始める」とか「新しい言葉を習う」とか・・・簡単なものから、ちょっと無理でしょ！みたいなものまでいろいろです。

英語では、「**I resolve to 動詞**」。「**アイ リゾーブ トゥ** \_\_\_\_\_」を使います。

私は、「**I resolve to read more books.**」**「もっとたくさん本を読む！」**って誓いを立てました。みなさんはどんな誓いを立てましたか？